

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.23 2007年6月18日

目 次

新理事の紹介	1	施設紹介	10
第7回総会報告	2	理事会等報告	11
学術局から	3	事務局から	12
委員会・作業部会から	7	求人情報	14
コラム：法人化を考える	9		

2年間よろしくお願いいたします

平成19年5月13日(日)に行われた千葉県言語聴覚士会第7回総会において、新役員が正式に承認されました。野島前会長、野原前理事、岡田前理事、庄司前理事、四方田前理事、猪野前理事が退任され、役員が大きく変わりましたので、ここで新役員を紹介いたします。

【会長】宇野 園子(流山中央病院):リハビリテーション公開講座作業部会

このたび3代目会長に就任いたしました。発足以来の会の歩みを顧みますと、初代会長の下で基盤がしっかりと整備され、前会長の下では、一般市民への啓発や他職種との連携など活動が大きく発展いたしました。会員数は300名を越えようとしております。後を受ける者として力不足ではありますが、活動をより充実したものとするために、それを支える会員の資質の向上と組織作りに努めてまいります。多くの皆様からご協力をいただき、また運営に関しては忌憚のないご意見を伺えましたら幸いに存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【副会長】齊藤 公人(千葉市大宮学園):社会局 広報部 新生児聴覚スクリーニング検討委員会

社会局広報部の担当となりました、千葉市大宮学園 ひまわりルームに所属しております齊藤公人です。ホームページの充実や求人案内など様々な情報発信をしていきたいと思っています。初めてのことで戸惑っていますが、先輩理事とともに頑張っていきます。

【副会長】齊藤 敬子(塩田病院):事務局 財務部 県民公開講座作業部会

前期は学術局を担当しておりましたが、今期は事務局財務部を担当させていただくことになりました。資金運用に関するご意見を皆様にもぜひお寄せいただき、お預かりしている会費を無駄なく活用していきたいと思っております。2年間よろしくお願いいたします。

【副会長】山口 真紀(ゆうあい苑):学術局 生涯学習プログラム基礎講座作業部会

学術局の担当となりました、介護老人保健施設ゆうあい苑に所属しております山口真紀です。会員の皆様のニーズに応える研修などを、企画・運営していきたいと思っております。また、介護老人保健施設の立場からも会の運営に携われるように、心がけていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

【理事】畠山 雅代(成東病院):事務局 総務部 実態調査委員会

この度、総務担当となりました畠山です。この5月より事務所が移転となりました。新しい拠点を心得、会員の皆様へのサービスを一層向上できるよう努めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【理事】山本 弘美（船橋市立医療センター）：社会局 渉外部 組織検討委員会

未就学児の子育て中に理事会や日々の案件処理が遂行できるのか不安ですが、2年間の任期を全うしたいと思います。昨年までは監事として会長はじめ理事の皆様のご活躍とご苦労に感謝しておりました。今、あらためて理事の膨大な仕事量に驚いています。誰もが気軽に理事を受けられるような組織へ変えていきたいと考えています。

【理事】笹本 しず江（流山市立江戸川台小学校）：学術局 特別支援教育委員会

小学校の特別支援学級で、子どもたちの指導にあたっております。教育と医療の連携が叫ばれる中、現実には多くの課題があります。少しでも、学術局担当として会員の皆様の研修や連携に役立てることができるようと思います。

【理事】齊藤 順子（成田市健康増進課）：事務局 編集部

事務局編集部の担当者として、会員の皆様とネットワーク作りを行いながら、県士会ニュースの内容を充実させ、皆様のお役に立てる記事掲載を行っていきたくて考えております。何か提案がありましたら気軽にご連絡ください。不慣れではございますが、2年間よろしくお願いいたします。

各委員会、作業部会構成委員については千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧ください。

第7回千葉県言語聴覚士会総会の報告

日時：平成19年5月13日（日）13時07分～14時10分

場所：千葉大学医学部附属病院 第1講堂

議長：秋山 篤（東京都立大塚ろう学校）

副議長：倉持 裕子（川鉄千葉病院）

書記：中村 智代子（東京歯科大学市川総合病院） 酒井 千代（佐倉厚生園）

会員数：272名、出席者：165名（当日参加52名、議長委任113名）

- ・協議事項：1. 第1号議案 平成18年度活動報告の件
2. 第2号議案 平成18年度決算報告の件
3. 第3号議案 平成18年度会計監査の件
4. 第4号議案 会則の改正に関する件
5. 第5号議案 新役員の承認に関する件
6. 第6号議案 平成19年度活動方針案に関する件
7. 第7号議案 平成19年度予算案に関する件

・報告事項：細則の一部改正に関する件

以上の件が提出され、賛成多数により承認されました。



《補足説明》 千葉県言語聴覚士会と日本言語聴覚士協会との関係について

会長 宇野 園子

5月13日に第7回総会が無事終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

総会において、千葉県言語聴覚士会（以下県士会）と日本言語聴覚士協会（以下協会）との関係について会員からご意見をいただきましたので、ここに説明させていただきます。

県士会では、平成15年第3回総会において、協会「都道府県士会」に参画することが承認されました。その際、各都道府県士会が独自の規約と会計をもつこと、協会が「都道府県士会協議会」（都道府県士会の代表で構成される会）を設置し、地域の声を協会に直接伝える場を作ることが、確認されております。

協会「都道府県士会」に参画したことにより、県士会員は、県士会主催の研修会が協会の生涯学習システムのポイント取得対象になる、診療報酬改定などの情報をいち早く知らせてもらえる、などの恩恵

にあずかっています。生涯学習のシステム作りや診療報酬に関する国との折衝は、県士会のような会員数百名の小さな組織ではなしえないことであり、これは県士会が協会の内部に位置づけられているからこそそのメリットです。

けれども、県士会は会員も規約も会計も協会とは別の独立した組織であり、決して協会の下部組織ではありません。常に協会からの活動方針に従うのではなく、地方の状況を踏まえて協会に提言を行える対等な立場ともいえましょう。この関係が維持されるためには、まず県士会が独自の見解をもって活動を展開していかななくてはならないと考えております。会員の皆様には、このような立場に立って、ますますご活躍いただきたいと存じます。

法人化の検討については、県士会が社会的に認知された組織になるうえで必須の手続きと考えます。方法として、協会の法人化を待って、そのまま協会傘下の組織として法人同様の扱いを受けられるようにする、県士会独自で法人化を進める、の案が考えられると思いますが、現在は情報を収集している段階ですので、情報を会員の皆様にお知らせして、ご意見を伺いながら検討していこうと考えております。重要な問題ですので、多数のご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

学術局から



1. 第2回研修会のお知らせ

*日時：平成19年7月22日(日) 13時00分～16時40分

*会場：千葉大学医学部附属病院 3階 第2・3講堂

*内容：

時間	第1会場(第2講堂)	第2会場(第3講堂)
13:00 ～ 15:00	講演 「摂食・嚥下障害者への指導 ～介護老人保健施設の現場から～」 千葉東病院 歯科医師 大塚 義顕 先生	講演 「学習障害児への指導再考」 筑波大学 教授 前川 久男 先生
15:10 ～ 16:40	講演 「STが語る障害者自立支援法の現在」 我孫子市障害者福祉センター 竹中 啓介 先生	

*申し込み：同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。

2. 平成19年度 第1回研修会報告

平成19年5月13日(日)千葉大学医学部附属病院にて平成19年度第1回研修会を開催しました。今回は小児と成人の高次脳機能障害について千葉県千葉リハビリテーションセンターの先生方に講演をいただきました。参加者は135名(うち会員92人、会員外43人)でした。研修会の概要と、当日行ったアンケートの結果の一部をご紹介します。

演題：小児と成人の高次脳機能障害支援モデル事業から学ぶこと ～理論と実践から～

講師 大賀 優 先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター脳神経外科部長 医師）

「高次脳機能障害支援モデル事業の概要と成人の診断・訓練・支援」

高次脳機能障害支援モデル事業の歩み、高次脳機能障害支援モデル事業の成果、支援モデル事業の残した課題、成人の診断・訓練・支援、という内容でした。

講師 荏原 実千代 先生（同小児神経科部長 医師）

「小児の診断と訓練と支援」

高次脳機能とは、平成 13 年度～17 年度のモデル事業、モデル事業開始後の小児部門での取り組み、小児の基準値の作成、小児例の動向・支援状況、言語聴覚科訓練プログラム紹介、という内容でした。

講師 太田 令子 先生（同地域連携部長 発達心理士）

「支援事業におけるサポートの実際」

診断基準の確立：平成 13～17 年度までのモデル事業の経緯の中で、「福祉支援の谷間」にいる人である新たな支援の対象者を明確化し診断基準を確立、評価基準、支援プログラム、継続的支援を要する者へのサービス計画、という内容でした。

アンケート結果

回答者 48 名

<研修会に参加していかがでしたか？>

とても良かった 22 名 普通 23 名 期待していた内容と異なった 3 名

<具体的に>：

- ・ 高次脳機能障害モデル事業での課題が明確にされ今後取り組むべきことが分かりやすかった。
- ・ 普段の臨床を見つめなおすきっかけとなった気がします。
- ・ ケアする者のケアも考えていくことが重要だという太田先生のことばは印象強く受け止めました。
- ・ 高次脳機能障害者に対し、必要な支援や他施設の行っている支援体制を知り、勉強になりました。
- ・ もっと成人の診断・訓練・支援について詳しいお話しが聞きたかった。

<研修会・情報交換会の感想>

- ・ 高次脳機能障害の 5 年間の流れを知ることができて良かったです。リハビリテーション病院ではないので、今の流れを詳しく知りませんでした。現状を知ることが出来ました。
- ・ 高次脳機能障害者に対する S T の役割の大切さが実感され身の引きしめる思いがしました。医療から地域への移向に対する S T のサポートの場もあるということを確認することができ、大変勉強になりました。

<今後の研修会についての意見>

- ・ 一度に小児と成人の分野が聞けることは、ありがたいです。
- ・ 発達障害の子が年々多くなり、症状も多様になっています。特に言語に問題を持ち、それでいて言葉だけの問題ではなく、全体発達のひとつの症状である場合が多く、S T さんと一緒にかかわれたらどれだけ子供にとって効果的に働きかけられるのに、と思いつつ働いています。
- ・ 嚥下評価、嚥下障害リハの安全対策をテーマとした研修会はぜひ参加させていただきたいと思います。
- ・ V T R をみて症状を分析する等の学校の講演のような研修会があれば、普段診断に悩む部分の質問がしやすいと思います。S T の質の統一・向上に寄与するのではないのでしょうか。新人 S T が現場で一番困る点です。ご検討をお願い申し上げます。

<県士会の活動についての希望>

- ・ 地域のつながりも大切ですが、若い会員が県士会活動に参加し、「職能組織」を理解していけるような活動をしてほしい。地域の勉強会が県士会の指導のもと、もっと活発に行われ、会員のつながりが高まっていくような活動をしてほしいと思います。

学術局より <研修会を終えて>

今回は会員の研修希望の一番多かった「高次脳機能障害の研修会」を行いました。成人と小児にかかわる医師と発達心理士の先生をお招きして、千葉県で行われたモデル事業から学ぶことを中心にお話しいただきました。皆様の職場で、高次脳機能障害の取り組みの一助になれるよう願っております。

3. 研修会ビデオの貸し出しと資料の送付

1) ビデオの貸し出し

これまでに実施した研修会のビデオを貸し出しています。下記の要領でお申し込みください。

方 法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼り、下記宛にお送りください。

宛 先：〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1

国立精神・神経センター国府台病院 四方田 博英

貸し出しビデオ：対象となる研修会の詳細は、県士会ホームページをご覧ください。最近の研修会ビデオは「小児と成人の高次脳機能障害支援モデル事業から学ぶこと～理論と実践から～」「シンポジウム 軽度発達障害児への支援」「きこえの障害の早期発見のために」「頸部聴診法による摂食・嚥下の診断」です。

貸出期間：1ヶ月

貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

2) 資料の送付

希望者に研修会資料を配布しています。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200円分）を貼りお送りください。宛先はビデオ貸し出しと同様です。対象となる研修会についての詳細は、県士会ホームページをご覧ください。

なお、最近の資料は、「小児と成人の高次脳機能障害支援モデル事業から学ぶこと～理論と実践から～」「シンポジウム 軽度発達障害児への支援」「きこえの障害の早期発見のために」「STに役立つ脳の画像診断＜初級編＞」です。

4. 平成19年度症例検討会 提案者募集中！

今年度の研修会一覧を同封しましたが、平成19年11月11日（日）と平成20年1月28日（日）の症例検討会の提案者を募集いたします。特に、1月28日（日）は千葉東病院 歯科医師 大塚 義顕先生（第2回研修会講師）を助言者に迎え、摂食・嚥下に関する症例検討会を行う予定です。昨年度同様、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

5. 「地域の勉強会」での症例検討会に参加しませんか？

会員の皆様のご協力により、各地域で勉強会が開催されています。同封の「地域勉強会一覧」「多職種合同勉強会」をご参照の上、奮ってご参加ください。また、ホームページではこの情報について随時更新を行っていますので、ぜひご利用ください。

特に小児の分野では、特別支援教育がいよいよ開始されました。千葉県言語聴覚士会はその最前線で活躍しているST、教員など様々な職種の方々との協力関係の構築を支援しています。これまで、病院勤務のST、学校現場のST、養護教員など、立場が違ってしまうと共通のこどもの成長に携わっていても、なかなかお互いにコミュニケーションがとれないという声がたくさん寄せられていました。そこで当会の特別支援教育委員会を中心として、「多職種合同勉強会」を県内各地に発足させ、発展させようとしています。一覧表を同封いたしますので、ぜひご活用ください。

特集：私の地域勉強会

県内各地で行われている勉強会を順番に紹介しています。今回は、「安房地区事例検討会」です。

安房地区事例検討会

「学校の様子はどうかかな？」「なかなか学校と連携がとれなくて、、、。本当は担任と話し合いたい。」
「特別支援コーディネーターと連携したい。」というＳＴの思いと『連携が大切だね。でも、どうやったら、医療関係者と連携がとれるの？』『医療関係は敷居が高そう。でも、困っている子どものためには連携したい。』という教育関係者の思いがようやく実を結びました。県土会の特別支援教育の研修会をきっかけに両者の思いが叶い会が昨年度この会が発足しました。主に亀田病院・クリニックのＳＴや地域のコーディネーターやことばの教室担当者などの教育関係者等が参加しています。まず、集まって勉強しよう、顔を合わせて直接話し合おう、情報交換をしようということです。まずは歩き出そうという行動優先的な思いと、先のことを考えながら息の長い地道な活動をしていこうという両輪でスタートしました。地域勉強会のスタートより一足早い始動でしたので、地域勉強会の目標である多くの職種の参加や誕生から就職やその先までを見通しての連携、ということまでは程遠く、いろいろな問題点もありますが、歩きながら、考えていこうというポジティブな考え方ですすんでいます。

およそ２ヶ月に１回の割合で、現在は検査結果や行動観察等を通し、実態把握や今後の指導の方向を検討しています。それぞれに関係あるケースを中心にしていますが、通常学級の担任や通所施設の担当者の方も参加してくださったりしています。

就学前のお子さんについて、就学先について悩んでいるケースや、高学年で中学への進学も含めた今後の対応についてのケース、学校での不適応に親子とも悩んでいるケースなどいろいろです。今、指導に困っているケースや行き詰まりを感じているケースも、何人かで話し合うことで、問題点が整理されたり、自分では思いもよらない新たな指導方法の糸口が見つかったりすることも多く、毎回の提案は自発的にされています。また、それぞれの実情などの情報交換もでき、ＳＴが学校訪問をするきっかけの一つにもなっています。学校関係者がＳＴの指導場面を保護者や本人の了解を得て、見せてもらうことも増えてきています。お互いに話だけでなく、実施の場面を見ることでプラスになることがたくさんあります。また、１対１の指導中心のＳＴと集団の中でお子さんを見る機会もある教育関係者がお互いに話し合うことで双方の理解もすすんでいると自負しています。医療関係と教育関係とが共通で使える教育支援計画も作りたいと準備中です。

対象となるケースが幼児～学齢期のお子さんがほとんどということもあり、大半は女性ですが、黒一点某クリニックのＳＴも皆勤でがんばっています。男性の参加者大歓迎？！

ケース検討をしているうちに、視覚認知についての勉強もしたいという意見が多く、７月１６日には視覚認知に詳しいドクターを招聘する予定です。基礎的な知識を勉強した後オプトメトリストも招聘し、実際の指導について勉強会を開く予定です。興味のある方、お近くの方、是非のぞいてみてください。

安房地区はエリアが広く、仕事が終わった後集まるのにも一苦労ではあります。現在のところ南房総市の教育委員会の御理解の元、旧丸山町に勉強の場を確保しています。

まだまだ方向性も定まらず、ゆえにやりたいことが山のようにある会です。とにかく続けながら、行く先は考えていこうというのんきな会でもあります。会を続けながら発展させていくことが自分たちの資質の向上につながり、地域への貢献にもなり、なによりそれが指導しているお子さんたちのためになっていくと信じて。

（鋸南町立保田小学校 和泉澤 光子）



委員会から

特別支援教育委員会

各地区で 多職種合同勉強会 開催

いよいよ平成19年度の「特別支援教育」の本格実施を迎えました。「特別支援教育」の制度は特別なニーズのある子どもに応じられるように、乳幼児期、学齢期、卒業後、生涯学習という個人の一生を視野に収めた「個別の支援計画」のなかの、特に学齢期に焦点をあてた制度です。

特別支援教育委員会は、その前身である特別支援教育に関する実態調査委員会の時に、千葉県言語聴覚士会 特別支援教育に関わる者の資質の向上、関係機関との連携の強化を図る必要があることを提言しました。のための場は、すなわち のための場でもあります。その場を作る活動は、その後県士会理事会にて平成18年度の活動として承認されました。そして、既存の勉強会も含めて、各地で「多職種合同勉強会」を行うようになり、現在5地域で、実施されています。

各地域で、教育関係者から「個別の支援計画」作成の協力などの要請が、言語聴覚士に寄せられ始めていると思います。「多職種合同勉強会」等の場で、子どもにかかわる専門職同志の共通認識の構築をお願いしたいと考えています。



作業部会から

県民公開講座作業部会

第2回県民公開講座開かれる！！……参加の呼びかけを！！

昨年度大変好評でした県民公開講座を今年度も開催します。

内容は、シンポジウム「発達障害児への支援」と講演「失語症の人への支援」です。また、個別の相談会も行います。

シンポジウム「発達障害児への支援」は、特別支援教育をリードしている研究者や行政の方、千葉県の教育現場でかかわっている言語聴覚士による、特別支援教育に向けた熱い思いと最前線情報をお届けします。特別支援教育は今年度から実施です。学校だけではなく、言語聴覚士も含めた多職種の支援で行う仕組みですので、私たち地域の言語聴覚士は是非知っておきたいものです。

講演「失語症の人への支援」は失語症者との会話技術を身につけ失語症者と社会とをつなぐ働きができる人たちの養成に先駆的に取り組んできたNPO法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会和音代表の 田村 洋子先生 から、豊富な経験をもとに失語症の人への支援についてお話し頂きます。

お誘い合わせのうえ、皆様にご参加頂けますようお願いいたします。また、基本的には、一般の方に言語障害と言語聴覚士という職業を知っていただく企画ですので、同封の県民の皆様向けのちらしを活用し周りの方にお知らせいただきますようお願い申し上げます。

日時等の詳細については、同封のちらしをご覧ください。

生涯学習プログラム基礎講座作業部会

千葉県言語聴覚士会版 生涯学習プログラム基礎講座 開催予定！！

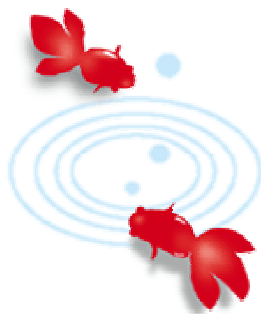
日本言語聴覚士協会が主催する「生涯学習プログラム基礎講座」を県士会でも開催することになりました。

県士会では、委員会を設けて基礎講座の開催に関して検討を重ね、「千葉県言語聴覚士会版の生涯学習プログラム基礎講座」を同封のご案内のように実施することになりました。会場はＪＲ千葉駅の近くで、２日間で全講座を受講できるように計画しました。

「生涯学習プログラム基礎講座」は、言語聴覚士の業務の基本となる講座です。主たる対象は卒後３年以内の言語聴覚士ですが、業務経験の浅い方はもちろん、ベテランの方でも今までの経験を整理する上で役に立ちます。ぜひ受講いただきますようご案内いたします。

「千葉県言語聴覚士会版の生涯学習プログラム基礎講座」は、日本言語聴覚士協会が設定する基礎講座（６講座）に加え、千葉県独自の講座が１講座入っています。基礎プログラムにおける内訳は、規定の基礎講座として６講座が履修でき、千葉県独自の講座は研修会参加ポイントとして取得できます。県士会としては、全７講座の受講をお勧めします。

詳細は、同封の案内をご覧ください。



リハビリテーション公開講座作業部会

第１回リハビリテーション公開講座 ポスター配布・・・関係の皆様の ご参加を！

千葉県ＰＴ・ＯＴ・ＳＴ士会主催、千葉県医学懇話会協賛の「第１回リハビリテーション公開講座」のポスターを皆様の職場にお届けしました。すでに、多くの人の目に触れる場所に掲示してあることと思います。関係する多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお、千葉県言語聴覚士会からの講演は、亀田総合病院リハビリテーション科 根本 達也 先生が行います。

また、ホームページで当日のお手伝いを募集しましたが、おかげさまで決まりましたので、お知らせします。ありがとうございました。

詳細は、同封のちらしをご覧ください。

コラム：法人化を考える

法人化に関する議論を、もっともっと活発にしたい

第一世代という考え方

私は、このごろ考えることがある。団塊の世代に属する人たちが言語聴覚士の第一世代であるとするならば、私はどこに属するのだろうか。また、今の若い言語聴覚士と第一世代の違いは何だろうか。考えるだけ無駄かもしれないが、第一世代に属する人たちは、言語や聴覚に関する仕事を最優先に考え、そのことで家族に嫌われ、仕事関係の本や学会報などに囲まれ、最後は孤独死するのであると考えられなくもない。この言語聴覚士という国家資格を作るために論争し、対立した世代でもあるから、何があっても不思議ではない。

議論をおこそう

私の感覚からすると、そんな激しい時代を過ごしてきた第一世代の言語聴覚士と、今、専門校を出て現場で研鑽を積む新世代＝新世紀の言語聴覚士の法人化にかんする意見や思いは、天と地ほどの開きがあるように感じている。ならば必要なのは互いの思いを語り、これから言語聴覚士をどうしていこうかという議論を巻き起こすことであろう。

行政の目から見た法人

今、私が市役所という職場にいて感じることは、単なる市民団体と法人格をもった団体の扱いの違いである。数年前だったと思うが、ある団体がNPO法人格を取ろうとしたことがあった。担当者は暗にそれは止めたほうがいいよ、というサインを送り続けていた。その理由は、NPOとはいえ千葉県の認証を取ってしまうと団体は発言力を増し、そのうえ補助金を出せと言うだろうから、それは困るということであった。そんな愚痴にも近い課長と担当職員の会話を盗み聞きしながら、法人格を取るということはすごいことだと漠然と思っていたことがあった。さて、その団体は晴れてNPOの認証を取得し、今は市有財産である教員住宅の一角に陣取り、補助金ももらって活動を行っている。豊かとはいえないが、最低限のものは得ているように思える。

やはり、行政という場から見ると法人格を得ていない団体は、大層な言葉を並べても、単なる任意団体でしかない。これは県庁に行ったときにも感じたことだった。県の後援を取り付けるにも法人格が優先される。それではなぜ昨年9月の行事で県の後援が得られたのかといえば、それは担当者を攻め落とした当会の担当者の力量であろうが、もうそんな苦勞は今の新世紀言語聴覚士に期待しても無理だろう。ならば、第一世代の人々が次ぎの世代に贈るものは何かと考えたとき、その一つが法人格だろうと思っている。

第一世代は老後もさることながら、県士会の未来を真面目に考えよう

自分のコレクションに囲まれて孤独死を選ぶのではなく、新しい世代の言語聴覚士たちと膝つき合わせて話をし、彼らの声を聞き、自らの熱い思いを語る場面を作りたいものだ。法人問題に「先に結論ありき」はないと思っている。まずは、多くの人の意見を聞きたいし、その場をなるべく多く作りたいとおもっているの、是非、ご協力をお願いしたい

(組織検討委員会 吉田 浩滋)

このたび、組織検討委員会が新たに設置されました。

施 設 紹 介

昭和大学病院形成外科 S T 木村 智江・佐藤 亜紀子

東京都品川区にある当院では、昭和大学口唇裂・口蓋裂診療班（SCPT）としてチーム医療を行っています。チームの一員である形成外科STは、常勤2名と非常勤1名です。

対象は、口唇裂・口蓋裂の乳児から成人です。赤ちゃんのご家族が形成外科を初めて受診する日から、哺乳・離乳指導、精神運動発達・言語発達の評価、家族に対する指導・助言を定期的に行っています。口蓋裂の手術後は、鼻咽腔閉鎖機能と構音の評価が中心になりますが、必要に応じて幼時期以降に構音訓練も行なっています。

ご自宅が遠方であったり、合併症のあるお子さんが多いので、地元の訓練機関や他職種との連携も重要な仕事です。県士会員の皆様にも訓練などで大変お世話になっておりますので、この場をお借りしてお礼申し上げます。

臨床業務としては1か月平均で入院30人、外来220人の評価・訓練がありますが、その他にSCPT事務局として父母教室、スタッフの勉強会、クリスマス会、家族向け講演会の企画運営、学生の実習指導や研究など多様な仕事を担当しています。

今後も、STとしての研鑽を積むとともに、チーム医療のコーディネーター（調整役）としての役割を十分に果たせるよう、努力していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

〒142-8666 品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8566



袖ヶ浦福祉センター S T 古森 一美

千葉県袖ヶ浦福祉センターは袖ヶ浦市の緑に囲まれた場所にあります。当センターは、STが所属している「福祉サポートちば」のほかに知的障害児・者の入所施設と授産施設、児童デイサービス施設から構成されています。「福祉サポートちば」は平成18年度に前身である「治療教育室」をもとに事業を拡大し、療育だけでなく知的障害・身体障害・精神障害児・者の相談業務も行うことになりました。福祉サポートちばの療育スタッフには、ST2名、臨床心理士2名が在籍し、PTとOTがおのの月3回来所しています。対象は千葉県在住のお子さんで、STはことばなどの心配に関する相談や個別療育を行っています。また、お子さんの所属機関に出向き情報交換等を行ない、連携を図っています。他にも保育園や幼稚園等から依頼を受けて相談に出向くこともあります。また、昨年度より近隣の市町村に働きかけ、お子さんが在住する市町村で療育を行うというサテライト事業も実施しています。今後も、関係機関と連携を取りながらお子さんが豊かな生活を送れるようお手伝いをしていきたいと思ひます。

〒299-0298 袖ヶ浦市蔵波3108-1 TEL: 0438-62-2755

理事会・委員会報告

平成18年度 理事会

第14回

日時：2007年3月4日（土）18:04～20:45 場所：蘇我コミュニティセンター 集会室

出席者：猪野、宇野、岡田、斉藤、庄司、野島、野原、四方田（以上理事8名）

神作（選挙管理委員長） 新井（実態調査委員会長） 三原（書記）

（事務局より）・入退会承認 ・総会議案書事業報告案 ・総会議案書活動計画案 ・平成18年度決算報告案
・平成19年度予算案 ・平成19年度理事候補・委員候補

（学術局より）・平成19年度第1回研修会計画 ・平成19年度年間研修計画

（社会局より）・組織検討委員会設置案

（実態調査委員会より）・平成18年度の医療保険診療報酬改訂に伴う千葉県内の言語聴覚療法の実施状況の変化に関する実態調査報告 ・平成19年度計画・予算

（選挙管理委員会より）・選挙公示案 ・県士会役員選挙報告

（その他）・第2回県民公開講座実施要綱案

平成19年度 理事会

第1回

日時：2007年4月1日（日）10:03～12:45 場所：プラザ菜の花 サークル室 palB

出席者：猪野、宇野、岡田、斉藤、庄司、野島、野原（以上理事7名） 酒井（書記）

（事務局より）・退会、勤務先変更届承認 ・平成18年度第14回議事録承認 ・総会日程、台本、総会議案書、
総会出欠届け ・平成18年度決算報告、平成19年度予算案 ・総会議案書事業報告 ・活動計画
・規約改正 ・平成19年度理事候補者 ・平成19年度部局委員候補者 ・未納退会者
・日本言語聴覚士協会参加率

（学術局より）・平成19年度第1回研修会スケジュール ・平成19年度年間研修計画案
・生涯学習プログラム基礎講座千葉県言語聴覚士会開催版実施計画案

（社会局より）・インターネットサーバー代

（その他）・組織（基礎講座と公開講座） ・ML承認手続き

第2回

日時：2007年4月14日（土）19:28～20:07 場所：千葉市民会館3階 第6会議室

出席者：猪野、宇野、岡田、斉藤、野島、四方田（以上理事6名） 酒井（書記）

（事務局より）・平成19年度予算案 ・平成19年度理事

（学術局より）・平成19年度第1回研修会スケジュール

（その他）・組織・分掌規定 ・リハビリ公開講座運営委員の補充 ・会則配布 ・総会時配布資料内容
・平成19年度部局委員候補

第3回

日時：2007年4月30日（土）10:05～11:40 場所：プラザ菜の花 サークル室 palB

出席者：猪野、宇野、岡田、斉藤、庄司、野島、野原、四方田（以上理事8名） 中村（書記）

（事務局より）・入退会承認 ・議事録承認 ・千葉県言語聴覚士会会則の変更
・会員及び会友に関する細則の変更 ・各部・委員会の名簿

（社会局より）・小児多職種合同勉強会ホームページ掲載

（学術局より）・平成19年度第2回研修会講師、案内状 ・年間研修計画案

（その他）・第2回千葉県言語聴覚士会県民公開講座実施計画案

・平成19年度千葉県言語聴覚士会年間活動予定 ・新理事との引継



平成 19 年度 特別支援教育委員会

第 1 回

日時：2007 年 6 月 7 日（木）18：30～22：00 場所：千葉大学医学部附属病院リハビリテーション部 言語聴覚室

出席者：和泉澤、太田、古森、高畑、野島、長谷川、宮本（以上 7 名）

- ・今年度年間計画の確認と役割分担
- ・県民公開講座シンポジウム「発達障害児への支援」実施計画
- ・多職種合同勉強会報告（安房地区、市川地区、北総地区）
- ・東葛地区多職種合同勉強会リハーサル

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

事務局から

事務局が移転しました

本年 5 月より当会の事務局が下記の場所に移転となりました。

住所：〒263-0023 千葉市稲毛区緑町 2-1-9 103 号室

（最寄り駅 京成線みどり台駅または JR 総武線西千葉駅）

TEL/FAX：043-243-2524

E-mail：chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ：<http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード：affordance

各種申請種類の送付や問い合わせ先になります。お間違えのないようお願いいたします。

1. 入会のお誘い

新年度がスタートしてはや 2 ヶ月が過ぎました。新たに言語聴覚士となられた方や、まだ当会にご入会頂いていない方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会のお勧めをお願いいたします。入会方法は当会のホームページでもご案内申し上げています。

2. 年会費納入のお願い

平成 19 年度の年会費をまだお支払いいただけていない方は、至急お振込みくださいますよう、お願いいたします。本会の会則により、2 年以上会費未納の場合、退会処分となりますのでご注意ください。

3. リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等のご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

4. 新入会員のお知らせ (敬称略)

会員数：正会員280名、会友39名、賛助会員5団体+1名

(平成19年5月27日 理事会承認分まで)

... 正会員 ...

矢部 高道 (茂原中央病院)	上藤 奈美 (医療法人社団木下会 千葉西総合病院)
酒井 譲 (順天堂大学医学部附属 順天堂浦安病院)	中島 麻美 (日本医科大学附属千葉北総病院)
金子 義信 (君津中央病院)	吉田 祥子 (吉野内科神経内科医院)
山口 幸江 (千葉県立市川特別支援学校)	羽場 依子 (誠馨会 総泉病院)
上西 奈緒 (柏葉会 柏戸病院)	井町 紀子 (医療法人社団曙会 流山中央病院)
高澤 淳也 (東明会 下総病院)	星野 直 (市川東病院)
宇治 百合子 (千葉大学医学部附属病院)	佐尾山 絢子 (津田沼中央総合病院)
田中 敏恵 (財団法人化学療法研究会 化学療法研究所附属病院)	
長良 梨沙 (財団法人化学療法研究会 化学療法研究所附属病院)	

... 会友 ...

宮内 紀子
浅野 由美 (千葉大学医学部附属病院)



編集後記：梅雨の季節になりました。雨の日と晴れ間を有効に活用して楽しみたいと思います。
皆様も日本の風情を楽しんでみてはいかがでしょうか。

事務局

〒263-0023 千葉県稲毛区緑町2-1-9 103号室

TEL/FAX: 043-243-2524

E-mail: chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ: <http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード: affordance

..... 求人情報

(2007年6月12日現在)

詳細は千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧ください。

東京湾岸リハビリテーション病院

募集：言語聴覚士 常勤・非常勤 2名(経験者)
対象：失語、嚥下障害、高次脳機能障害等 全般
千葉県習志野市谷津4-1-3 電話：047-453-9000
担当：言語聴覚科長 小田柿、事務課 林

八潮中央総合病院

募集：言語聴覚士 常勤 2名
埼玉県八潮市緑町1-41-3 電話：048-996-1131
担当：総務課人事係 市川

医療法人社団誠馨会 セコメディック病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名
対象：主に脳血管疾患
〒274-0053 千葉県船橋市豊富町696-1
電話：047-457-9894(総務課直通)

千葉市立海浜病院

募集：言語聴覚士 非常勤 1名
内容：耳鼻咽喉科における各種検査業務、摂食・嚥下障害における評価訓練
〒261-0012 千葉県千葉市美浜区磯辺3-31-1
電話：043-277-7711(内線315)
担当：検査科長 郡(こおり)

館山病院

募集：言語聴覚士 常勤
対象：成人の失語症・構音障害・高次脳機能障害・認知症・嚥下障害
電話：0470-22-1122(内線728)
担当：事業部管理課 加藤

富里市簡易マザースホーム

募集：言語聴覚士 非常勤 1名
〒286-0221 千葉県富里市七栄653-2
電話：0476-92-2301 担当：布田原

介護老人保険施設 まつど徳洲苑

募集：言語聴覚士 常勤又は非常勤 1名
(経験者を希望しますが新卒でも可)
対象：入所、通所リハビリテーション
〒270-0001 千葉県松戸市幸田180-1
電話：047-309-7172 担当：事務長 石川

医療法人沖縄徳洲会 四街道徳洲会病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名(新卒、既卒いずれも可)
対象：成人の失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害など
四街道市吉岡字入輪戸1830-1 電話：043-214-0111

総合医療センター 成田病院

募集：言語聴覚士 常勤 1名
(新卒者および経験3年未満の方)
対象：(成人)失語症、構音障害、嚥下障害
〒286-0845 千葉県成田市押畑896
電話：0476-22-1500 担当：事務局長 星(ほし)

NPO 法人千葉ステップアップ教室

募集：言語聴覚士 (経験者優遇)
対象：小児の相談・指導
〒263-0023 千葉市稲毛区緑町2-14-4 逸見ビル3F
電話：043-238-2886 担当：行木・矢内

ウェルピア かつしか

(葛飾区地域福祉課・障害者センター)

募集：言語聴覚士 非常勤

対象：区内在住の常時介護を必要とする知的障害者、または身体障害者 個別・集団の言語訓練の両方

東京都葛飾区堀切 3 - 34 - 1 電話：03 - 5698 - 1329

担当：葛飾区福祉部障害者施設課 横井辰江

ユーカリが丘訪問看護ステーション

募集：言語聴覚士 (常勤・非常勤)

対象：訪問リハビリテーション

〒285 - 0859 佐倉市南ユーカリが丘 2 - 1

プレシオ南ユーカリが丘 1 階

電話：043 - 460 - 3344 担当：まつした・長谷川

八千代リハビリテーション病院

募集：言語聴覚士 2 名 (有資格者、新卒も可)

対象：(成人)失語症、構音障害、嚥下障害

〒276 - 0031 千葉県八千代市八千代台北 6 - 7 - 3

電話 047 - 483 - 1555 今井、田中

新松戸中央総合病院

募集：言語聴覚士 常勤 2 名

対象：成人の失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害など

〒270 - 0034 千葉県松戸市新松戸 1 - 380

電話：047 - 345 - 1111 担当：事務長

医療法人社団心和会 新八千代病院

募集：言語聴覚士 常勤 (できれば経験者を望む)

対象：成人失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害

千葉県八千代市米本 2167 電話：047 - 488 - 3251

担当：事務長 立崎、リハビリテーション科 藤田

医療法人 吉栄会 吉川病院

募集：言語聴覚士 常勤

〒596 - 0813 大阪府岸和田市池尻町 98 番地

電話：072 - 445 - 3721 担当：事務局 佐野陽子

社会福祉法人あそか会 あそか病院

募集：言語聴覚士 常勤 (有資格者、未経験者も可)

対象：高次脳機能訓練、成人失語症訓練、構音障害訓練
嚥下障害訓練等

〒135 - 0002 東京都江東区住吉 1 - 18 - 1

電話：03 - 3632 - 0290 担当：総務課 本多